

大阪学習センター

2025年度公開講座 開催予定一覧

※大阪学習センター客員教員による公開講座です
参加申し込み等詳細については、Webサイトを
ご確認ください



職名 / 氏名		本務先/専門分野	開催日時・場所/ 定員	講演タイトル・要旨
放送大学大阪学習センター 客員教授 たかはし のぼる 高橋 登		大阪教育大学特任教授 発達心理学・ 教育心理学	2025/7/27 (日) 15:15 - 16:45 (オープンキャンパス) 第1 講義室 定員：40名	教育に活かす心理学 今回の講演では、「教育に活かす心理学」と題して、私たちが（あるいは子供たちが）勉強をするときに、どうしてなかなかやる気がでないのか、また、どうしたらやる気が出るのかをお話します。また、合わせて、学校の教員になるために、どうして心理学を学ばなければならないのか、教育と心理学の関係について実例を挙げながらお話ししたいと思います。
放送大学大阪学習センター 客員准教授 えのもと たけし 榎本 剛士		大阪大学大学院准教授 (人文学研究科) 語用論・言語人類学 ・記号論	2025/8/24 (日) 15:15 - 16:45 (オープンキャンパス) 第1 講義室 定員：40名	「コミュニケーション」というミイラを取りに行くとミイラになる？ 私たちは日々、コミュニケーションを行っていますが、そのことと「コミュニケーションを考えること」は、似て非なるものです。私たちの「コミュニケーションに関する思考」には、どのような「癖」があるのか。私たちがコミュニケーションについて考えた結果として得るアイデアは、コミュニケーションにどのような影響を与えるのか。このような「自分自身に返ってくる」（すなわち、再帰的な）問題について、考えてみましょう。
放送大学大阪学習センター 客員教授 こばやし ひでとし 小林 秀敏		大阪大学名誉教授 (基礎工学研究科) 材料力学 (衝撃工学& 植物バイオメカニクス)	2025/9/14 (日) 14:00 - 15:30 第2 講義室 定員：40名	オオオニバスの巨大浮き葉に秘められた浮体構造のひみつ 小学生を対象とした水性植物園の夏のイベントとして、オオオニバスの巨大浮き葉への試乗体験会という企画を目にすることがあります。そこで今回は、なぜ人が乗っても沈まないのか、という素朴な疑問に答えるためにオオオニバスの巨大浮き葉が持つ浮体構造としての様々な力学的工夫について、詳細な観察と実験を通して解明したいと思います。
放送大学大阪学習センター 客員教授 ばんざわ あゆむ 鳩澤 歩		大阪大学大学院教授 (経済学研究科) 経済史・経営史	2025/11/15 (土) 14:00 - 15:30 第2 講義室 定員：40名	近現代経済史のなかのカフカ 『判決』『変身』『訴訟（審判）』『城』などで知られる作家フランツ・カフカ（1883 - 1924）は、19世紀末から20世紀前半欧州の社会・経済における巨大な変化のなかで生きた。その生涯から、第一次グローバリゼーション、第二次産業革命、戦時統制経済、天文学的インフレといった近現代経済史の展開を追う。
放送大学大阪学習センター 客員教授 わたなべ えり 渡邊 英理		大阪大学大学院教授 (人文学研究科) 近現代日本語文学	2025/12/6 (土) 14:00 - 15:30 第2 講義室 定員：40名	現代文学が開く世界ー近年の芥川賞受賞作から 1935年に菊池寛によって始められた芥川賞。同賞は、現在でも多くの注目を集め、最も社会的影響力のある文学賞のひとつです。受賞作は、その時代を代表する文学作品として認められると同時に、その時代状況を映し出し、その社会を描き出すとともに、時代や社会に反応し批評する機能ももっています。近年の芥川賞作品を時代や社会との関係から読み解き、その思想の内実について考えてみたいと思います。
放送大学大阪学習センター 客員教授 さとう つやこ 佐藤 都也子		前四條畷学園大学教授 看護学	2026/2/1 (日) 15:15 - 16:45 (オープンキャンパス) 第1 講義室 定員：40名	健康について考える WHO憲章では「健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない」と定義されています。人生100年時代、日本は世界的な長寿国となっています。長く生きていくことは、それだけ病気になることも多く、高齢社会はみんなが病気をもって生きていく社会とも言えます。病気をもって健康に生きていくとは、どのような生き方なのか、考えてみたいと思います。
放送大学大阪学習センター 客員教授 たけや やすし 竹屋 泰		大阪大学大学院教授 (医学系研究科) 老年看護学	2026/2/21 (土) 15:15 - 16:45 (オープンキャンパス) 第1 講義室 定員：40名	高齢者の複雑性と老年医学 高齢者は病気だけでなく、加齢に伴う身体的・精神的・社会的機能低下などが加わって生活機能の低下を引き起こします。高齢者の病態は極めて複雑で、この複雑性に対する対応方法は老年医学のみならず、現代医学全体の大きな課題となっています。本講演では高齢者の複雑性と最新の老年医学についてお話しいたします。